

地 理

地 理

第 1 問 高知県の地域調査に関する次の問い(問 1～7)に答えよ。

問 1 高知市の気候について調べてみた。次の図 1 は、中国・四国地方に位置する都市の月別降水量を示したものであり、図 1 中のア～ウは、高知市、高松市、松江市のいずれかである。都市名とア～ウとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

1

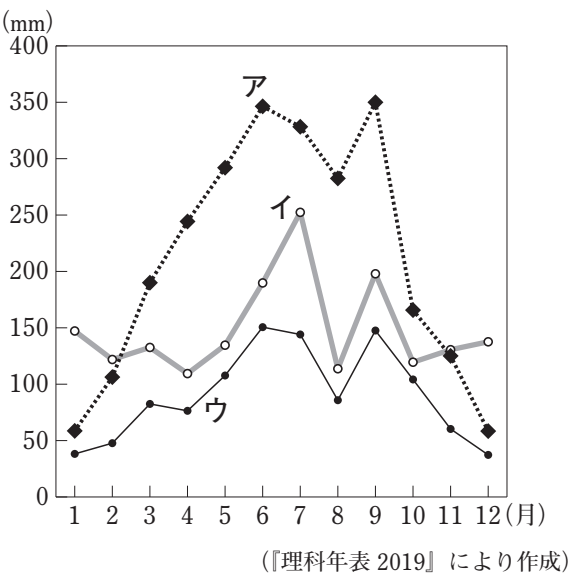


図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
高知市	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
高松市	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
松江市	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問2 高知県のビニルハウスを利用して栽培したきゅうりの出荷について興味を持ち、大阪中央卸売市場におけるきゅうりの月別入荷実績を調べてみた。次の図2中のカ～クは、高知県、佐賀県、福島県のいずれかである。県名とカ～クとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 2

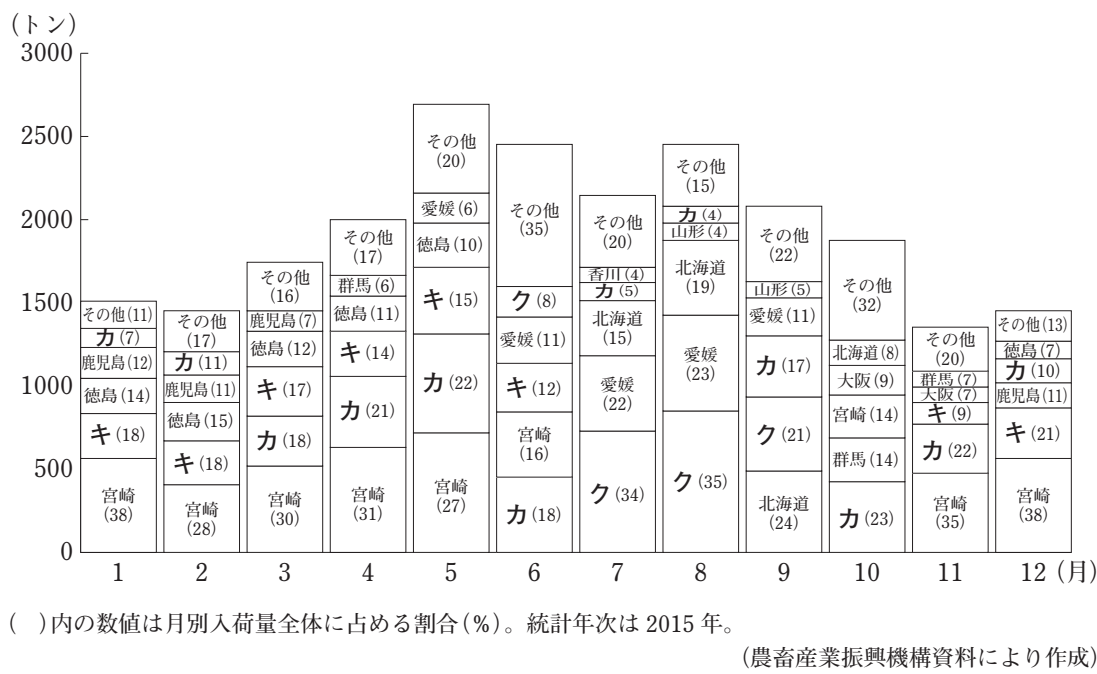


図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
高知県	カ	カ	キ	キ	ク	ク
佐賀県	キ	ク	カ	ク	カ	キ
福島県	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問3 高知県では津波に対するさまざまな対策が取られていることを知り、これについて調べてみた。津波の防災・減災を目的にした対策について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① 沿岸部には、浸水から避難できる津波避難タワーを建設する。
- ② 山間部の谷に砂防ダムを建設して、津波の勢いを緩和する。
- ③ 津波ハザードマップを見て、自宅から避難所までの経路を確認する。
- ④ 書物を用いて、過去にどのような津波被害が発生したのかを学ぶ。

問4 高知県と高知市における人口統計の推移について調べてみた。次の図3は、高知市および高知県全域における出生率と死亡率の推移を示したものである。高知市における出生率に該当するものを、図3中の①～④のうちから一つ選べ。 4

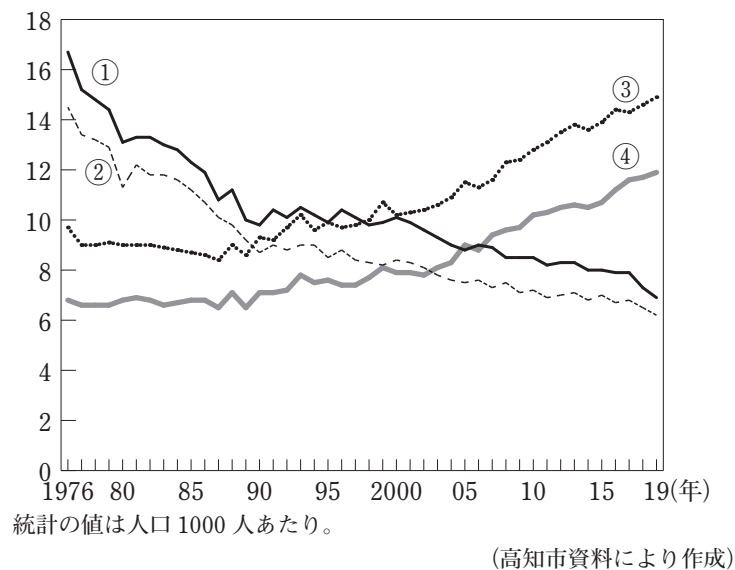


図 3

問5 四国地方に位置する県庁所在地からの交通について調べてみた。次の表1は、各都市から、大阪・神戸方面に向かう高速バスの便数と、大阪・神戸および東京(羽田・成田)に向かう航空機の便数を示したものであり、表1中のP・Qは高知、高松のいずれか、サ・シは大阪・神戸行き、東京行きのいずれかである。高知と東京行きに該当するものの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 5

表 1

	大阪・神戸行き の高速バス便数	航空便数	
		サ	シ
P	27	11	8
Q	75	15	0
徳島	90	10	0
松山	28	14	11

便数は片道1日当たりで、臨時便を除く。

(JTB時刻表2020年12月号により作成)

	①	②	③	④
高知	P	P	Q	Q
東京行き	サ	シ	サ	シ

問6 次の図4中にみられる「いの町」では、四国山地と仁淀川の自然をいかして古くからある製品がつくられてきた。また、図4中のXには、その製品に関する博物館がある。これについて述べた下の文章中の(タ)にあてはまる語句を、あとの①～④のうちから一つ選べ。

6



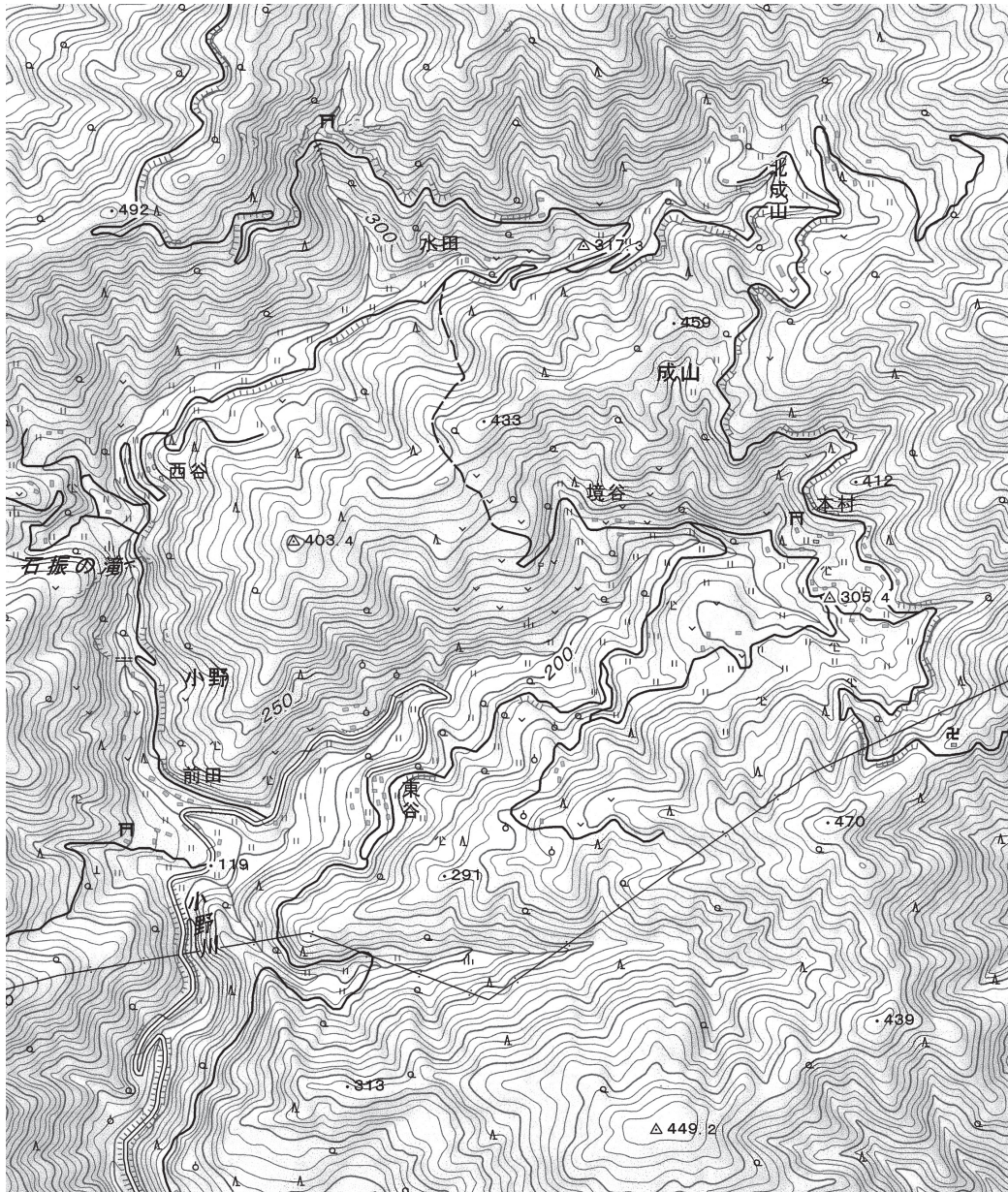
(地理院地図により作成，一部改変)

図 4

この地域では、山地でこうぞやみつまたの栽培が行われており、仁淀川の清流とこれらの原料を利用して(タ)の生産が伝統的に行われてきた。需要の減少や後継者不足などによりその生産量は減少してきたが、製品は高く評価されている。

- ① 絹織物 ② 漆器 ③ 清酒 ④ 和紙

問7 次の図5は、仁淀川支流の上流部を示した地理院地図である。図5から読み取れることがらについて述べた文として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 7



(地理院地図により作成)

図 5

- ① 果樹園はおもに南向き斜面につくられており、北向き斜面にはみられない。
- ② 水田は傾斜地に広がっていることから、棚田が分布すると考えられる。
- ③ 「東谷」と「西谷」の中心地区を比較すると、「西谷」のほうが標高が高い。
- ④ 図5中で最も標高が高い地点は、標高 500 m を超えている。

第2問 世界と日本の工業に関する次の問い(問1～7)に答えよ。

問1 次のア～ウの文は、日本におけるさまざまな製品の工業立地について述べたものである。

ア～ウと工業製品の種類との組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 8

ア 製品に占める重量のうち水や空気などの普遍原料の割合が高いため、消費市場付近に立地する傾向が強い。

イ 原料の重量が重く、加工して製品にすると小さくなるため、原料産地付近に立地する傾向が強い。

ウ 日本では原料の多くを輸入に依存しているため、消費地に近い輸入港付近に立地する傾向が強い。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	食用油	食用油	バター	バター	ビール	ビール
イ	バター	ビール	食用油	ビール	食用油	バター
ウ	ビール	バター	ビール	食用油	バター	食用油

問2 次の表1は、おもな国の乗用車の生産台数および販売台数を示したものであり、表1中の①～④は、アメリカ合衆国、中国、ドイツ、日本のいずれかである。中国に該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。 9

表 1

	生産台数 (千台)	販売台数 (千台)
①	21,360	21,444
②	8,329	4,301
③	4,661	3,607
④	2,513	4,715

乗用車には、トラックやバスなどの商用車を含まない。

統計年次は2019年。

(『世界国勢図会 2020/21年版』により作成)

問3 繊維工業について述べた次のカ～ケの文のうち、内容が正しいものの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 10

カ 綿織物の生産量は、中国とインドが上位2か国となっている。

キ 毛織物の生産量は、オーストラリアとニュージーランドが上位2か国となっている。

ク イタリアの第3のイタリアとよばれる地域では、少品種大量生産を進めることにより、高い国際競争力をあげている。

ケ イギリスのランカシャー地方で早い段階から綿織物工業が発達した背景には、石炭と比較的湿潤な気候に恵まれていたことがある。

① カとク

② カとケ

③ キとク

④ キとケ

問4 下の①～④の文は、次の図1中のA～Dのいずれかの工業地域について説明したものである。C地域に該当するものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 11

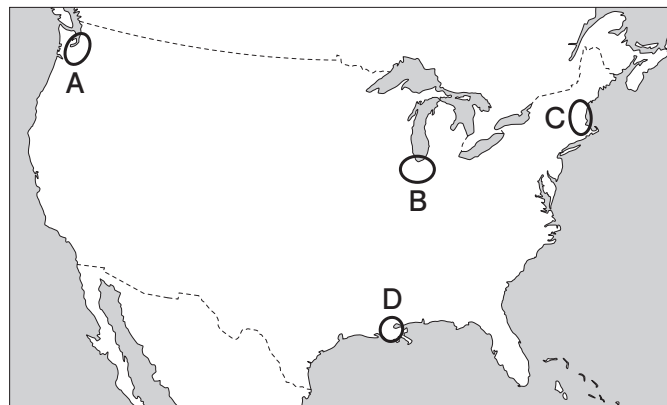


図 1

① 鉄鋼業のほか、大農業地域を背景に食品加工や農業機械工業も発達する。

② 地元で産出される原油を用いて、石油化学工業が発達する。

③ 航空機産業を中心としており、製材やパルプ工業なども発達する。

④ 繊維・皮革工業が早くから発達し、近年では電子工業も発達する。

問5 次の表2中のサ～スは、パルプの生産量、輸出量、輸入量のいずれかにおける上位4か国を示したものである。項目名とサ～スとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

表 2

	サ	シ	ス
第1位	ブラジル	中国	アメリカ合衆国
第2位	カナダ	アメリカ合衆国	ブラジル
第3位	アメリカ合衆国	ドイツ	中国
第4位	チリ	イタリア	カナダ

統計年次は2018年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2021年版』により作成)

	①	②	③	④	⑤	⑥
パルプの生産量	サ	サ	シ	シ	ス	ス
パルプの輸出量	シ	ス	サ	ス	サ	シ
パルプの輸入量	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問6 第二次世界大戦後におけるさまざまな時代の日本の工業について述べた次のタ～ツの文について、時代が古いものから順に並べたものとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 13

タ 茨城県の鹿島や岡山県の水島地区などに、石油化学工業や鉄鋼業をはじめとする大規模な臨海工業地域が形成された。

チ 東北自動車道や中央自動車道の開通により、東北地方や長野県に電子部品やコンピュータなどの工場が進出した。

ツ 日本国内における人件費の上昇に加えて急速な円高もみられたため、中国や東南アジア諸国などに工場の移転が進んだ。

① タ→チ→ツ

② タ→ツ→チ

③ チ→タ→ツ

④ チ→ツ→タ

⑤ ツ→タ→チ

⑥ ツ→チ→タ

問7 次の表3は、おもな業種別の製造品出荷額等の上位5都道府県を示したものであり、表3中のナ・ニは、鉄鋼業・電気機械器具のいずれか、X・Yは、静岡県・千葉県のいずれかである。ナとXに該当するものの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

14

表 3

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
ナ	愛知県	兵庫県	X	大阪府	広島県
ニ	愛知県	Y	兵庫県	大阪府	栃木県
化学工業	X	兵庫県	大阪府	神奈川県	山口県
輸送用機械器具	愛知県	Y	神奈川県	群馬県	広島県

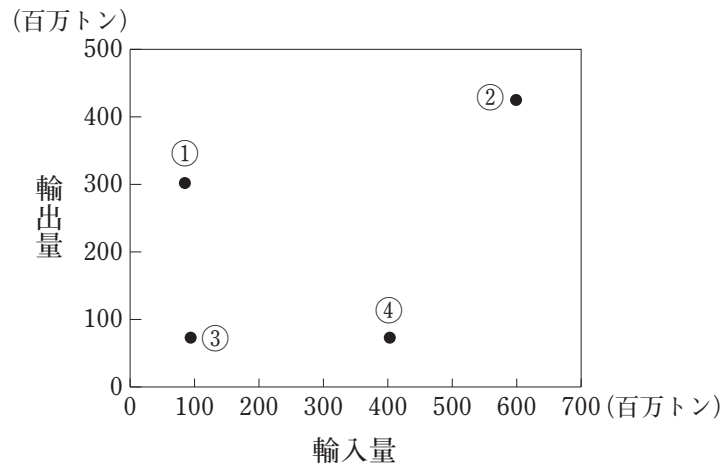
統計年次は2017年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2021年版』により作成)

	①	②	③	④
ナ	鉄鋼業	鉄鋼業	電気機械器具	電気機械器具
X	静岡県	千葉県	静岡県	千葉県

第3問 世界と日本の資源・エネルギーに関する次の問い(問1～7)に答えよ。

問1 次の図1は、いくつかの国について一次エネルギーの輸出量と輸入量を示したものであり、図1中の①～④は、アメリカ合衆国、インド、カナダ、メキシコのいずれかである。インドに該当するものを、図1中の①～④のうちから一つ選べ。 15



石油換算。統計年次は2017年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2021年版』により作成)

図 1

問2 再生可能エネルギーによる発電(2017年)について述べた文として下線部が適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 中国では環境問題への対策として太陽光発電の開発を進めており、太陽光発電の国別発電量は世界第1位になっている。
- ② ブラジルには包蔵水力の大きい河川が多く、国内の総発電量に占める水力発電の割合は50%を上回っている。
- ③ スペインでは偏西風が安定して吹くため、風力発電による発電量が太陽光発電による発電量を上回っている。
- ④ 日本には火山活動が活発な地域が多くみられ、地熱発電の国別発電量は世界第1位になっている。

問3 次の表1は、おもな原油輸入国について、原油輸入先を示したものであり、表1中のA・Bはアメリカ合衆国、中国のいずれか、ア～ウはアラブ首長国連邦、イラン、ロシアのいずれかである。アメリカ合衆国とロシアに該当するものの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 17

表 1

(単位:万トン)

	A	B	ドイツ	日 本
ア	819	7,149	2,667	789
イ	16	1,220	—	4,289
ウ	—	2,927	—	237
イラク	1,822	4,504	167	211
サウジアラビア	2,800	5,673	149	5,261

統計年次は、中国が2018年、その他が2019年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2021年版』により作成)

	①	②	③	④	⑤	⑥
アメリカ合衆国	A	A	A	B	B	B
ロシア	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ

問4 OPEC (石油輸出国機構) について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① OPEC の事務局は、西アジアにある都市に置かれている。
- ② OPEC には、EU 加盟国は1つも加盟していない。
- ③ OPEC は、第一次石油危機よりも前に結成された。
- ④ OPEC は、国際石油資本(メジャー)に対抗する目的で結成された。

問5 次の表2は、下の説明文に該当するエネルギー資源について、日本における輸入相手上位4か国とその輸入量を示したものである。表2中のPに該当する国を、あとの①～④のうちから一つ選べ。 19

表 2

順 位	第1位	第2位	第3位	第4位
国 名	オーストラリア	P	カタール	ロシア
輸入量(千トン)	30,116	9,331	8,735	6,399

統計年次は2019年。

(『日本国勢図会 2020/21年版』により作成)

液化・輸送技術の向上に伴って、1970年頃から日本でも利用が盛んになってきたエネルギー資源であり、日本の一次エネルギー供給のうち22.9%(2018年度)を占めている。

- ① カナダ ② チリ ③ ブラジル ④ マレーシア

問6 次のカ～クの文は、おもなレアメタルについて述べたものであり、カ～クは、インジウム、プラチナ、リチウムのいずれかである。資源名とカ～クとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

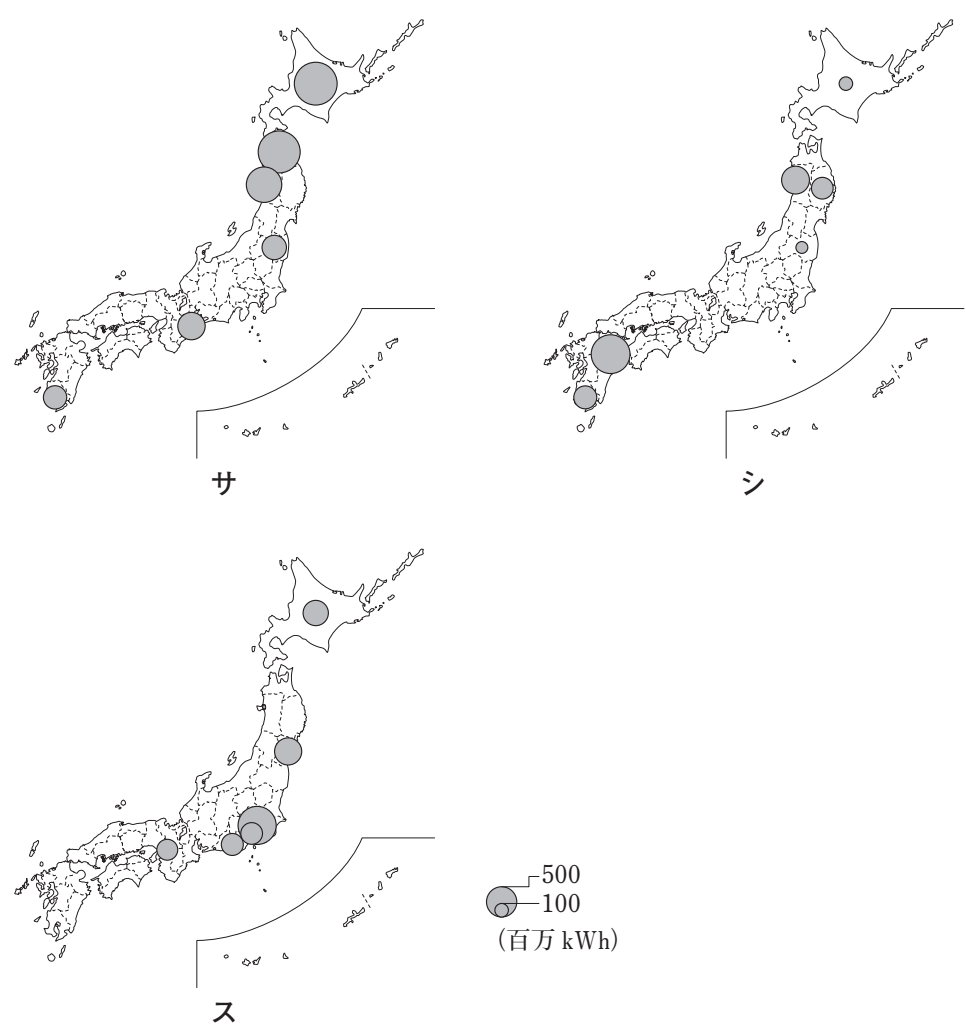
カ 中国と韓国で世界の産出量の70%ほどを占める。液晶パネルやLED、太陽電池、半導体の材料などに用いられ、廃棄パネルからのリサイクルも進んでいる。

キ 南アフリカ共和国で世界の産出量の70%ほどを占める。装飾品のほか、自動車の排気ガス浄化装置の触媒などに利用される。

ク オーストラリアとチリで世界の産出量の70%以上を占める。これを原料につくられる電池は高い電圧が得られるため、電子機器や電気自動車などに利用される。

	①	②	③	④	⑤	⑥
インジウム	カ	カ	キ	キ	ク	ク
プラチナ	キ	ク	カ	ク	カ	キ
リチウム	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問7 次の図2は、おもな再生可能エネルギーにおける発電量上位6都道府県を示したものであり、図2中のサ～スは、地熱、廃棄物、風力のいずれかである。発電の種類とサ～スとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 21



統計年次は 2019 年度。

(経済産業省資料により作成)

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
地 熱	サ	サ	シ	シ	ス	ス
廃棄物	シ	ス	サ	ス	サ	シ
風 力	ス	シ	ス	サ	シ	サ

第4問 次の図1を見て、オーストラリアに関する下の問い(問1～7)に答えよ。



図 1

問1 次のア～ウの文は、図1中のa～cのいずれかの都市について述べたものである。ア～ウとa～cとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 22

ア おもにイギリス系移民が19世紀から流入して発展し、郊外にはワイン工場が点在する。

イ 世界遺産に登録されたサンゴ礁や熱帯雨林の自然を求めて、多くの観光客が集まる。

ウ 国内を代表する鉄山から鉄道が延びており、鉄鉱石の積出港として知られる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	a	a	b	b	c	c
イ	b	c	a	c	a	b
ウ	c	b	c	a	b	a

問2 図1中に示したクインズランド州の自然環境と農牧業について述べた次の文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。 23

クインズランド州には①古期造山帯に属する山脈が縦断しており、山脈の東側では②集約的な肉牛飼育やサトウキビ栽培などが行われている。山脈の西側に広がる盆地では豊富な被圧地下水を利用した③集約的な小麦栽培が行われているが、一部の地域では地下水の枯渇や④土壌の塩性化などの環境問題も発生している。

問3 オーストラリアの先住民と移民政策について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① オーストラリアの先住民であるアボリジニーは、古くから農耕や牧畜を生業として生活してきた。
- ② アボリジニーの伝統的な文化を保存するため、アボリジニーの言語もオーストラリアの公用語として採用された。
- ③ 白豪主義政策は第二次世界大戦直後に撤廃され、1950年代になるとアジアからの移民が増加した。
- ④ 1970年代になると、多文化主義を推進するなかでインドシナ半島からの難民も受け入れた。

問4 オーストラリアの都市について述べた次の文中の(カ)・(キ)にあてはまる語句の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ・キャンベラに首都が建設されるまでは、(カ)に首都機能が置かれていた。
- ・オーストラリアの都市人口率(2015年)は、世界平均より(キ)。

	①	②	③	④
カ	シドニー	シドニー	メルボルン	メルボルン
キ	高い	低い	高い	低い

問5 オーストラリアの貿易相手国と輸出品目について述べた次のサ～スの文のうち、下線部の内容が正しいものの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

26

- サ 1960年代以前は、オーストラリアと政治的につながりが強かったアメリカ合衆国が最大の貿易相手国であった。
- シ 1970年代後半頃からアジア諸国への輸出額が増加し、現在では日本が最大の貿易相手国になっている。
- ス オーストラリアの輸出額(2019年)を品目別にみると、鉄鉱石、石炭といった鉱産資源が上位を占めている。

- ① サのみ ② シのみ ③ スのみ
- ④ サとシ ⑤ サとス ⑥ シとス

問6 オーストラリアは、アジア太平洋地域の関係を強めるために APEC（アジア太平洋経済協力会議）の結成を働きかけた。APEC について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 域内の平和や安定、経済協力を目指して、1960 年代に結成された。
- ② 日本やオーストラリアに加えて、中国やロシアも加盟している。
- ③ 貿易をめぐる問題がみられたため、アメリカ合衆国は脱退した。
- ④ 域内では関税を撤廃し、域外に対する共通関税を設定している。

問7 オーストラリアから日本を訪れる観光客は、日本の文化や歴史を学ぶことに加え、スポーツなどのアクティビティを楽しむことが多いという傾向がみられる。次の表 1 は、いくつかの国・地域からおもな府県への観光客延べ宿泊者数^{*}を示したものであり、表 1 中の①～④は、アメリカ合衆国、オーストラリア、韓国、台湾のいずれかである。オーストラリアに該当するものを、表 1 中の①～④のうちから一つ選べ。 28

^{*}従業者数 10 人以上の施設に対する調査から作成。

表 1

(単位：人泊〔人数×宿泊数〕)

	長野県	京都府	広島県	福岡県
①	338,740	839,070	81,760	679,190
②	106,850	451,240	89,950	27,400
③	33,570	347,870	36,750	1,332,410
④	37,960	981,670	135,430	78,270

統計年次は 2019 年。

(JNTO〔日本政府観光局〕資料により作成)

第5問 次の図1を見て、東南アジアに関する下の問い(問1～7)に答えよ。

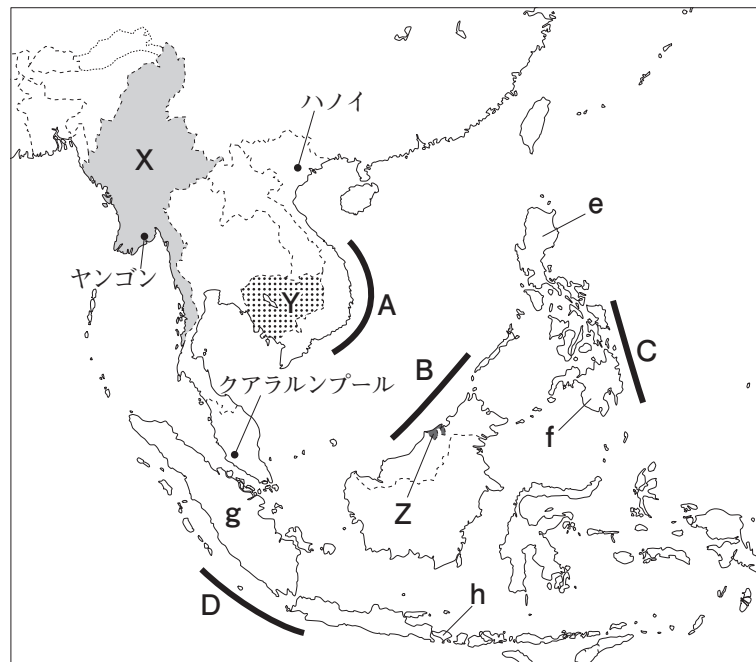


図 1

問1 図1中のA～Dの海域のうち、海溝が形成されているものの組合せとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 29

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ① AとB | ② AとC | ③ AとD |
| ④ BとC | ⑤ BとD | ⑥ CとD |

問2 図1中のe～hの島について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① eの島にはフィリピンの首都が位置しており、キリスト教の教会が島内に数多くみられる。
- ② fの島には、かつて宗主国であったアメリカ合衆国の企業によってバナナのプランテーションがつくられた。
- ③ gの島には、近隣のシンガポールから多くの企業や工場が進出しているため、国内で最も人口が多い。
- ④ hの島には海岸に多くのリゾートホテルがみられ、ヒンドゥー教の寺院も重要な観光資源である。

問3 次の図2中のア～ウは、図1中に示したクアラルンプール、ハノイ、ヤンゴンのいずれかにおける、3か月ごとの降水量*の年降水量に占める割合を示したものである。都市名とア～ウとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 31

* 1～3月，4～6月，7～9月，10～12月における月降水量を，それぞれ合計した値。

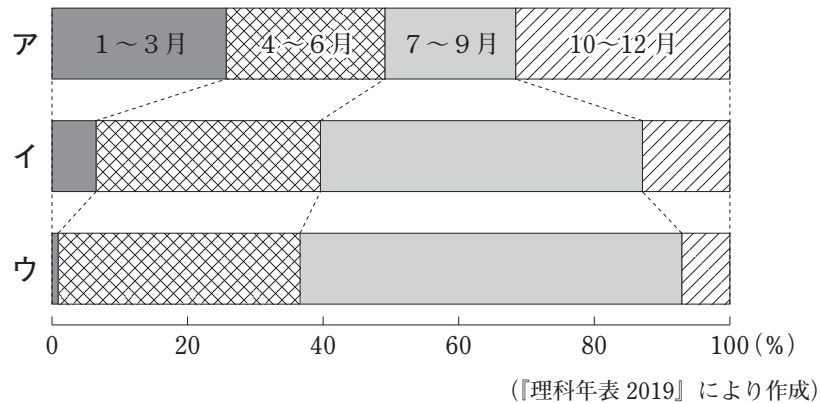


図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
クアラルンプール	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
ハノイ	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
ヤンゴン	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問4 次のカ～クの文は、図1中のX～Zのいずれかの国について述べたものである。カ～クとX～Zとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 32

カ 長年の民主化運動によって民政に移管されたが、近年も軍によるクーデターが発生するなど情勢は不安定である。ムスリム(イスラム教徒)に対する迫害問題もみられる。

キ 内戦が長期間続き、その間に多くの地雷が撒かれたため国は疲弊したが、1990年代後半から新しい国づくりが行われている。観光収入が国家財政基盤の一つである。

ク 石油と天然ガスを産出し、国家財政は豊かである。王政が維持されており、国民の多くはイスラーム(イスラム教)を信仰している。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	X	X	Y	Y	Z	Z
キ	Y	Z	X	Z	X	Y
ク	Z	Y	Z	X	Y	X

問5 次の表1は、コーヒー豆、天然ゴム、パーム油の生産量上位4か国を示したものであり、表1中のP～Sは、インドネシア、タイ、ベトナム、マレーシアのいずれかである。インドネシアに該当するものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 33

表 1

	コーヒー豆	天然ゴム	パーム油
第1位	ブラジル	R	Q
第2位	P	Q	S
第3位	Q	P	R
第4位	コロンビア	インド	コロンビア

統計年次は2018年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2021年版』により作成)

- ① P ② Q ③ R ④ S

問6 次の表2は、東南アジアの4か国における1人当たりGNI（国民総所得）を示したものであり、表2中のサ～セは、シンガポール、タイ、ベトナム、マレーシアのいずれかである。セに該当する国について述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

34

表 2

	1人当たり GNI(国民総所得) (ドル)
サ	58,462
シ	10,968
ス	6,925
セ	2,440

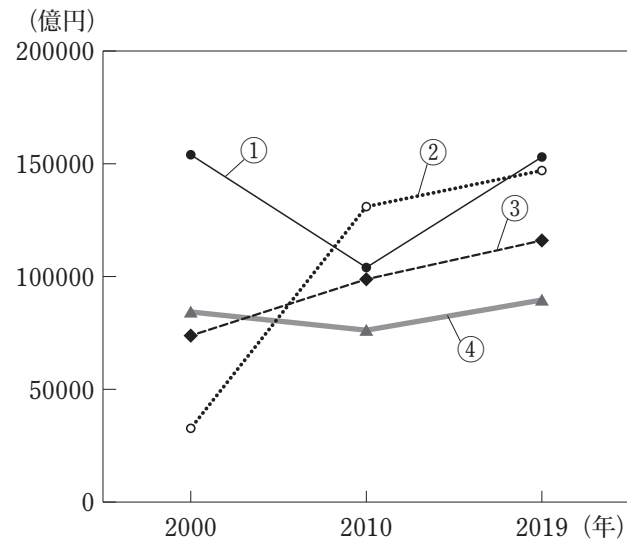
統計年次は2018年。

(『世界国勢図会 2020/21年版』により作成)

- ① 日本などを見習って工業化や経済発展を進めるルックイースト政策を行った。
 ② ジュロン工業団地を中心にして、石油化学工業などの重化学工業が発達した。
 ③ 日本などからの工場進出により、東南アジアで自動車生産台数が最大となった。
 ④ 社会主義の政治体制を維持しながら経済の自由化を進め、外国企業を誘致した。

問7 次の図3は、日本から各国・地域への貿易の輸出額の推移を示したものであり、図3中の①～④は、ASEAN、アメリカ合衆国、中国、EU*のいずれかである。ASEANに該当するものを、図3中の①～④のうちから一つ選べ。 35

* EU は、2000 年は 15 か国、2010 年は 27 か国、2019 年は 28 か国の合計額。



(『日本国勢図会 2020/21 年版』により作成)

図 3

(地理の問題は終わり)